

知る・体感する

東北 農泊



農泊に興味
があれば
どなたでも
参加可能



スタートアップ セミナー

東北の豊かな自然と、そこに育まれてきた農山漁村の豊かな暮らし。さまざまな体験を通じて、農山漁村の風土、食、歴史、文化、伝統などを体感出来る農泊は、新たな観光スタイルとして、また、地方と都市の交流促進による地域活性化策としても注目されています。地域の特性を活かし、旅行者も住民も豊かになれる農泊について知り、体感するセミナーです。

セミナー会場は、農泊を体感できる築170年の古民家宿「柚子のあぜ道 雨乞のかえる」です。
<http://www.yuzunoazemichi.jp/s>

【とき・ところ】

令和4年11月30日(水)

13:00~16:50

宮城県柴田郡柴田町入間田字下台26

柚子のあぜ道 雨乞のかえる

(会場参加またはオンライン参加の

いずれかをお選び下さい。)

【基調講演】

地域の特性を活かす農泊の魅力

青木 辰司 氏

一般社団法人日本ファームステイ協会品質評価支援研究所所長
東洋大学名誉教授

【事例発表】

宮城県柴田町

(一社)かかしの一本足かえるのあぐら
嶋崎 康二 氏

秋田県北秋田市

マタギの宿 ORIYAMAKE

織山 英行 氏



■農泊とは・・・農山漁村において日本ならではの伝統的な生活体験と農村地域の人々との交流を楽しみ、農家民宿、古民家を活用した宿泊施設など、多様な宿泊手段により旅行者にその土地の魅力を味わってもらう「農山漁村滞在型旅行」を指します。

東北農政局 農山漁村振興交付金(農泊推進対策)事業説明会

主催：農林水産省 東北農政局 農村振興部 農村計画課

東北農政局 農山漁村振興交付金（農泊推進対策）事業説明会 知る・体感する 東北農泊 スタートアップセミナー

講師プロフィール

〔基調講演〕

青木 辰司 氏（東洋大学名誉教授）

（株）「日本ファームステイ協会」品質評価支援研究所長。世田谷区生涯大学講師。希望郷いわて文化大使。元 NPO 法人「日本グリーン・ツーリズムネットワークセンター」代表理事。

環境共生の社会学の視点から、日本型の都市農村関係構築について実践的な提案を展開。最近では、政府の農泊政策の定着に向けて、グリーン・ツーリズムの理念を踏まえた持続可能なツーリズムの具現化のため、品質評価支援の制度化に向けた、実践研究及びその支援に着手。若手県遠野市には、1995年から80回以上の訪問を重ね、東北ツーリズム大学の設立やNPO法人「遠野山里くらしネットワーク」の設立支援を行う一方、熊本県人吉球磨地域には2004年から70回以上訪問し、全国初の広域連携型のグリーン・ツーリズムの先駆的実践地域としての、人吉球磨地域の魅力を内外へ発信して、助言・支援。著書は、「グリーン・ツーリズム実践の社会学」、「持続可能なグリーン・ツーリズム－英国から学ぶ実践的農村再生」（いずれも丸善）、「転換するグリーン・ツーリズム」（学芸出版社）等多数。2021年7月には、人吉豪雨災害支援として、絵本「川があふれた！ まちが沈んだ日－生きる力をくれたキジ馬くん」（パピルスあい）を刊行。

〔事例発表①〕

嶋崎 康二 氏（一般社団法人かかしの一本足かえるのあぐら）

大学卒業後、外資系生命保険会社、信用調査会社を経て、2017年に（一社）かかしの一本足かえるのあぐらを共同設立。「古民家を中心としたまちづくり」を事業コンセプトとして、古民家・里山を次世代に残すことを目的に、築170年の古民家宿「柚子のあぜ道雨乞のかえる」を運営。2021年4月から「みやぎグリーン・ツーリズム推進協議会」事務局長に就任。

〔事例発表②〕

織山 英行 氏（マタギの宿 ORIYAMAKE）

武蔵野美術大学卒。東京で映像制作会社勤務中に東日本大震災を経験。取水制限や、スーパーでの買い占めを目の当たりにし、都会での生活を見直す機会を得る。その時はじめて、故郷の山から水や食料を全て授かりながら生きている暮らしが輝いて見え、2011年7月にUターン。その後、狩猟免許を取得し、2018年1月から秋田発祥のマタギ文化を世界に広め、後世へ残す道筋を作るためのゲストハウス ORIYAMAKE を営む。コロナ禍前は、宿泊者の7割を外国人観光客が占めていた。

【森吉山麓ゲストハウス ORIYAMAKE (<https://oriyamake.com>)】

【申込方法】

申込フォーム（URL <https://forms.gle/u1yxYboQrYAi2JYZ9>）又は右記 QR コード）より必要事項を入力するか、参加申込書をご記入の上、FAXにてお申込み下さい。

※お申込完了に対してのご返信は、満員時以外はございません。

◇参加費：無料

◇対象者：各自治体・JA・農家・観光協会・DMO・観光関連事業者など、農泊に興味があればどなたでも参加可能

◇定員：会場先着20名・オンライン50名

◇参加方法：会場またはオンライン（zoom ウェビナー予定）

◇その他：講師・内容は予告なく変更となる場合がございます。詳細は前日までにメールにてご案内いたします。

〔当日のセミナー開催スケジュール（予定）〕

12:45/13:00 開場・受付

13:00/13:20 開会・挨拶・オリエンテーション

13:20/14:20 基調講演

14:30/15:00 事例発表①

15:00/15:30 事例発表②

15:40/16:40 農泊事業説明

16:40/16:50 質疑応答・閉会

※ご希望があれば、閉会后、個別相談に応じます。



参加申込書【FAX送付先 019-652-1820 / 申込締切 11月22日（火）】

所属団体名		
住所		
連絡先	TEL	FAX
	メールアドレス	
参加者氏名	氏名①（役職）	氏名②（役職）
参加方法 <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 会場参加	<input type="checkbox"/> オンライン参加

※ご提供いただいた個人情報については、法令で定める場合を除き、収集の目的を超えての利用や提供は一切行いません。※主催者から農泊関連の情報をお送りさせていただく場合がございます。（不要な場合は、お申し出ください。）

◆問合せ：一般社団法人全国農協観光協会（担当者：松岡惟）

FAX：019-652-1820 / TEL：080-7579-0681 / E-mail：yui.matsuoka@i-znk.jp

◆主催：農林水産省 東北農政局 農村振興部 農村計画課